

朝来市景況調査書

令和2年 上半期

(調査対象：令和2年1月～3月)

朝来市商工会

令和2年6月

【目次】

I. 景況調査.....	2
1. 景況調査について.....	2
2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査）.....	3
3. 業種ごとの集計.....	4
①建設業（有効調査書数：48件）.....	4
②製造業（有効調査書数：53件）.....	6
③小売業（有効調査書数：78件）.....	8
④サービス業（有効調査書数：125件）.....	10
II. 需要動向調査.....	15
1. 需要動向調査について.....	15
①建設業.....	15
②製造業.....	17
③小売業.....	19
④サービス業.....	21
（参考文献）.....	23

I. 景況調査

1. 景況調査について

○本調査書作成の目的

朝来市内事業者が主要商圈とする朝来市地域、但馬地域、及び兵庫県内の経済動向を調査し、市内の業種別産業構造を把握することで、効果的な将来予測、及び経営計画の策定等に繋げることを目的とします。

○本調査書の作成方法

朝来市商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報を比較して調査書を作成します。

○『D.I.』について

D. I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、
「良い」20% - 「悪い」30% = ▲10%
となり、D. I. 値は▲10ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10件	20%
不変	25件	50%
悪い	15件	30%
合計	50件	100%

○参考とする調査書と有効回答数について

本調査書の作成にあたり、株式会社みなと銀行が四半期毎に実施する「兵庫県内中小企業の景況調査」、および但馬信用金庫が四半期毎に実施する「但馬管内の景気動向調査」の調査結果を参照しています。

(対象期間(R2. 1~3月)における有効回答数)

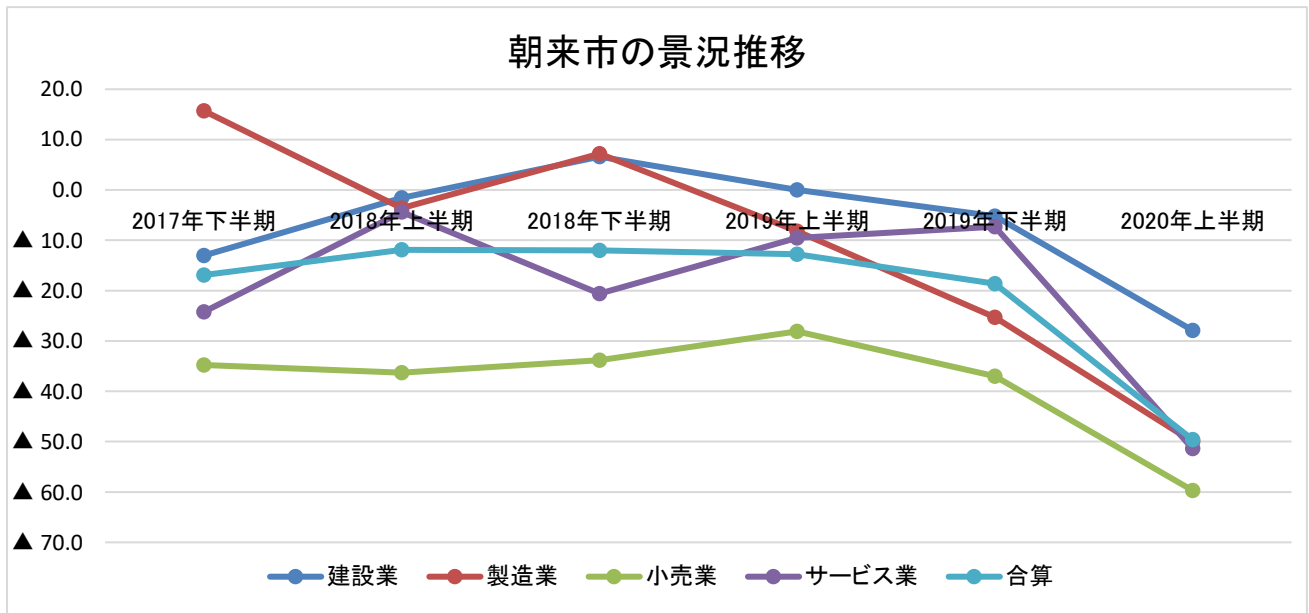
(※6/29時点、みなと銀行調査が未公表。公表後にデータ追加)

	建設業	製造業	小売業	サービス業
兵庫県内中小企業の景況調査 (株みなと銀行)	—	—	—	—
但馬管内の景気動向調査 (但馬信用金庫)	85件	84件	58件	125件
朝来市景況調査書 (朝来市商工会)	48件	53件	78件	125件

○業種の分類について

本調査書では、朝来市内事業所における卸売業は「小売業」とあわせて、飲食・宿泊業等は「サービス業」とあわせて集計しています。

2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査）



	2017年 下半期 (H29. 7～9月)	2018年 上半期 (H30. 1～3月)	2018年 下半期 (H30. 7～9月)	2019年 上半期 (H31. 1～3月)	2019年 下半期 (R1. 7～9月)	2020年 上半期 (R2. 1～3月)
建設業	▲ 13.0 (54件)	▲ 1.6 (64件)	6.6 (61件)	0.0 (51件)	▲ 5.2 (58件)	▲ 27.9 (48件)
製造業	15.7 (51件)	▲ 3.6 (55件)	7.2 (69件)	▲ 8.2 (61件)	▲ 25.3 (79件)	▲ 50.0 (53件)
小売業	▲ 34.8 (66件)	▲ 36.3 (80件)	▲ 33.8 (71件)	▲ 28.1 (89件)	▲ 37.0 (81件)	▲ 59.7 (78件)
サービス業	▲ 24.2 (95件)	▲ 4.4 (113件)	▲ 20.6 (107件)	▲ 9.5 (126件)	▲ 7.3 (110件)	▲ 51.4 (125件)
合算	▲ 16.9 (266件)	▲ 11.9 (312件)	▲ 12.0 (308件)	▲ 12.8 (308件)	▲ 18.6 (328件)	▲ 49.6 (304件)

(※回答数 306 件、内 2 件は業種未記入のため計上せず)

直近6回の調査における「業況（自業種の景気動向）」の集計結果の推移を示しています。表の上段の数値はD.I.値、下段の数値はその時の集計件数を示しています。

新型コロナウイルス感染症拡大による経済停滞は朝来市も例外ではなく、全業種が過去6回の調査で最低値を記録する結果となりました。上記業種の中でD.I.値が一番低いのは小売業ですが、一方で今期に入り、下がり幅が最も大きいのはサービス業（飲食業・宿泊業含む）と出ています。今期に入りサービス業が大幅に下落した原因は暖冬による観光客の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けているためと予想されます。

3. 業種ごとの集計

①建設業（有効調査書数：48件）

○昨年(1～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？（※内5件は未回答）

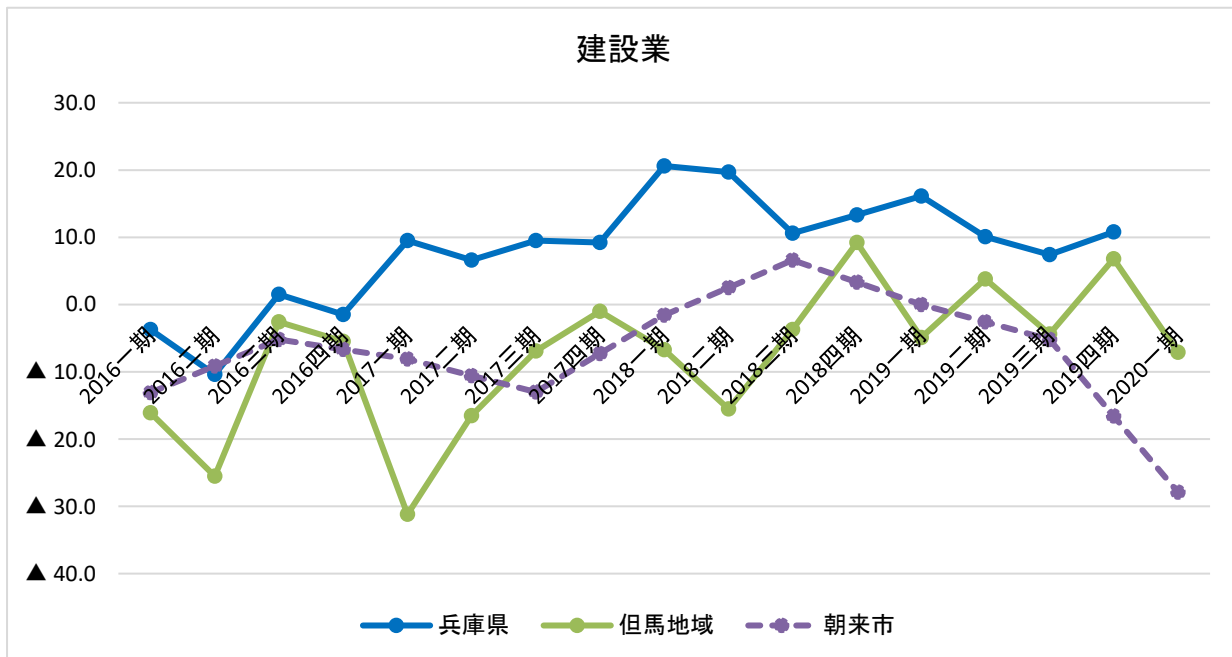
	件数	構成比
好転	1件	2.3%
不変	29件	67.5%
悪化	13件	30.2%

割合としては、「不変」とお答えいただいた事業者が最も多い状況です。「好転」との回答を頂いた事業所は1件のみであり、景気判断値は前回を下回る結果となりました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	—
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲ 7.1ポイント
朝来市	▲ 27.9ポイント

但馬地域全域、朝来市ともに前回調査（令和元年7月～9月）を下回る数字となっています。

○建設業における地域ごとの景況推移



※朝来市は二期（4～6月）、四期（10～12月）の調査未実施のため、中間点を計上

建設業における地域ごとの景況推移を中期的に見てみると、兵庫県全域と但馬地域においては回復傾向にありました。しかし2020年に入ってから全地域で悪化となっており、新型コロナウイルス感染症拡大が建設業にも悪影響を与えていることが分かります。

○経営上の問題点（建設業－朝来市）

	2018 下半期	2019 年上半期	2019 年下半期	2020 年上半期
1 位	従業員の確保難	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	従業員の確保難
2 位	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難	従業員の確保難	熟練技術者の確保難
3 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇

順位に変動はあるものの、毎回「従業員の確保難」「熟練技術者の確保難」が1位と2位にあがっており、依然として多くの建設事業者が人手不足に直面していることが分かります。「材料等仕入単価の上昇」も問題点として連続してあがり、いかに効率的な工法を取り、工事原価を抑えるかが課題と考えられます。

○経営状況や今後の方針について（建設業－朝来市）

創業5年未満	1件
売上・事業拡大	17件
現状維持	22件
事業承継への取り組み	10件
廃業を検討	5件

※複数回答あり

・廃業を検討（5件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	2件
事業譲渡なども、全く考えていない	3件

②製造業（有効調査書数：53件）

○昨年(1～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？（※内1件は未回答）

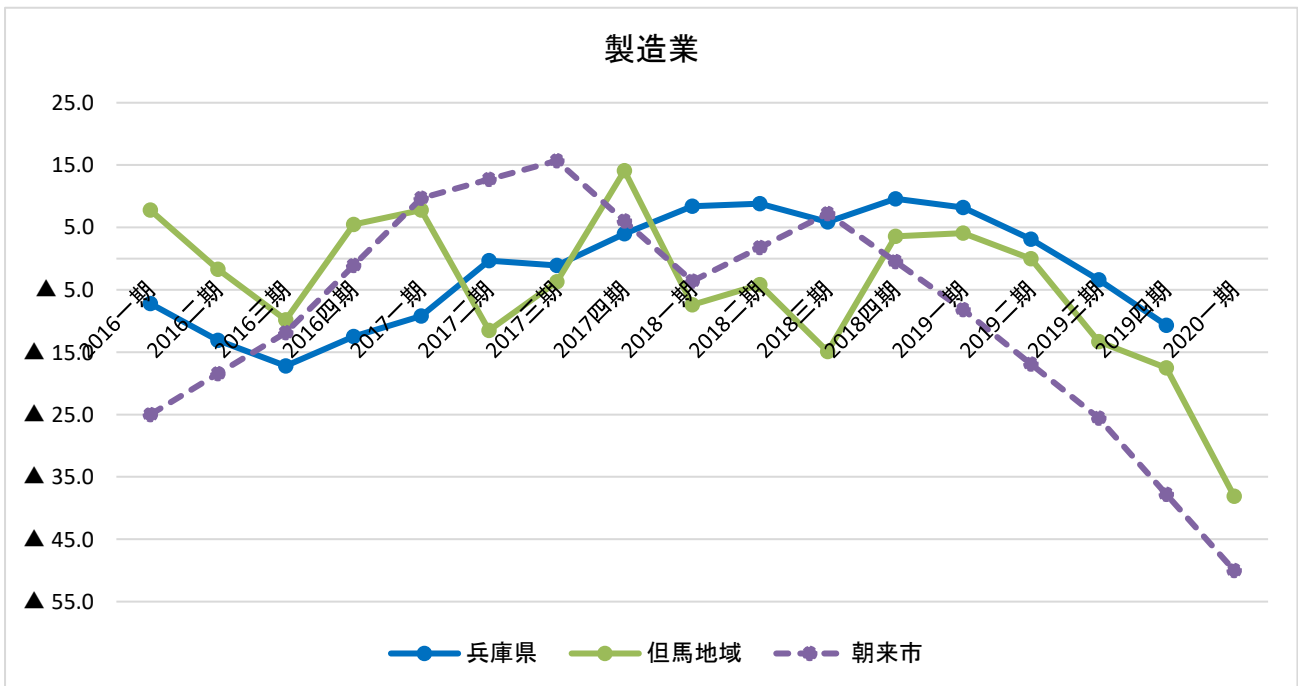
	件数	構成比
好転	6件	11.6%
不変	14件	26.9%
悪化	32件	61.5%

前回調査(R1.7～9)では「不変」と回答頂いた事業者が最多でしたが、今回は「悪化」の割合が増加し、経済停滞の影響を大きく受けています。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	—
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲38.1ポイント
朝来市	▲50.0ポイント

但馬地域は前回調査まで安定していたものの、大幅に減少となりました。朝来地域 2019 年上期から悪化傾向がありましたが、より厳しくなっています。

○製造業における地域ごとの景況推移



※朝来市は二期（4～6月）、四期（10～12月）の調査未実施のため、中間点を計上

2018年三期・四期をピークに全地域で減少傾向にあったものの、2020年1期は今まで以上に大幅な減少を見せています。特に但馬地域、朝来市地域での減少は兵庫県全域の下がり幅を超えています。

○経営上の問題点（製造業－朝来市）

	2018 下半期	2019 年上半期	2019 年下半期	2020 年上半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	需要の停滞
2 位	従業員の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難	材料等仕入単価の上昇
3 位	店舗施設の老朽化	人件費の増加	需要の停滞	人件費以外の経費の増加

今までは「材料等仕入単価の上昇」が連続して最も大きな問題として挙がっていましたが、今期に入り経済停滞や消費動向の低下により「需要の停滞」が第1位として浮上しました。次点は「材料仕入単価の上昇」「人件費以外の経費の増加」が挙がり、売上減少と経費増加による利益減が大きな問題になっていると考えられます。

○経営状況や今後の方針について（製造業－朝来市）

創業5年未満	1 件
売上・事業拡大	24 件
現状維持	24 件
事業承継への取り組み	12 件
廃業を検討	1 件

※複数回答あり

・廃業を検討（1件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	1 件

③小売業（有効調査書数：78件）

○昨年（1～3月）と比較して、今期の業況はいかがですか？（※内6件は未回答）

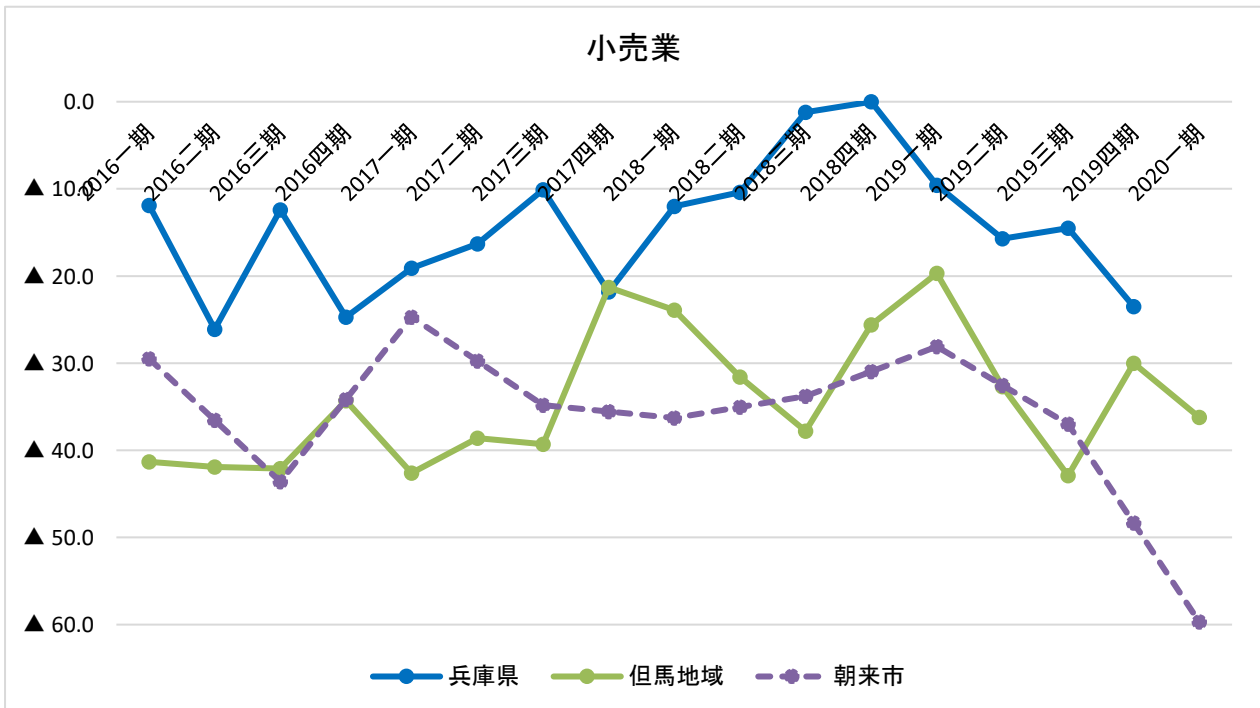
	件数	構成比
好転	6件	8.3%
不変	17件	23.6%
悪化	49件	68.1%

前回調査でも「悪化」の回答が他業種と比較して最も高い割合が小売業でした。しかし今期に入り、「悪化」と回答した事業所がより増加しています。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	—
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲36.2ポイント
朝来市	▲59.7ポイント

但馬全域において大きな減少は見られません。一方で朝来市地域の数値は大幅に下落し、最も厳しい結果となりました。

○小売業における地域ごとの景況推移



※朝来市は二期（4～6月）、四期（10～12月）の調査未実施のため、中間点を計上

以前より小売業の傾向として他業種と比較し D. I. 値が低かったこと、地域ごとの格差が大きかったことが挙げられます。今期の結果を見ると、朝来市内の小売業は但馬地域全域より減少が激しく、地域格差がより開いたと言えます。

○経営上の問題点（小売業－朝来市）

	2018 下半年	2019 年上半期	2019 年下半年	2020 年上半期
1 位	利用者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応
2 位	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞
3 位	店舗施設の老朽化	従業員の確保難	従業員の確保難	材料等仕入単価の上昇

1位の「利用者ニーズの変化への対応」は例年上位ですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により消費者の目線や需要も大きく変わっているため、各業種・事業者ごとに適した対応が迫られていると予想されます。また3位に「材料等仕入単価の上昇」が挙がっており、売上減と仕入単価上昇による利幅が下がり、厳しい状況にあると考えられます。

○経営状況や今後の方針について（小売業－朝来市）

創業5年未満	3件
売上・事業拡大	26件
現状維持	40件
事業承継への取り組み	9件
廃業を検討	9件

※複数回答あり

・廃業を検討（9件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	2件
事業譲渡なども、全く考えていない	7件

④サービス業（有効調査書数：125件）

○昨年（7～9月）と比較して、今期の業況はいかがですか？（※内16件は未回答）

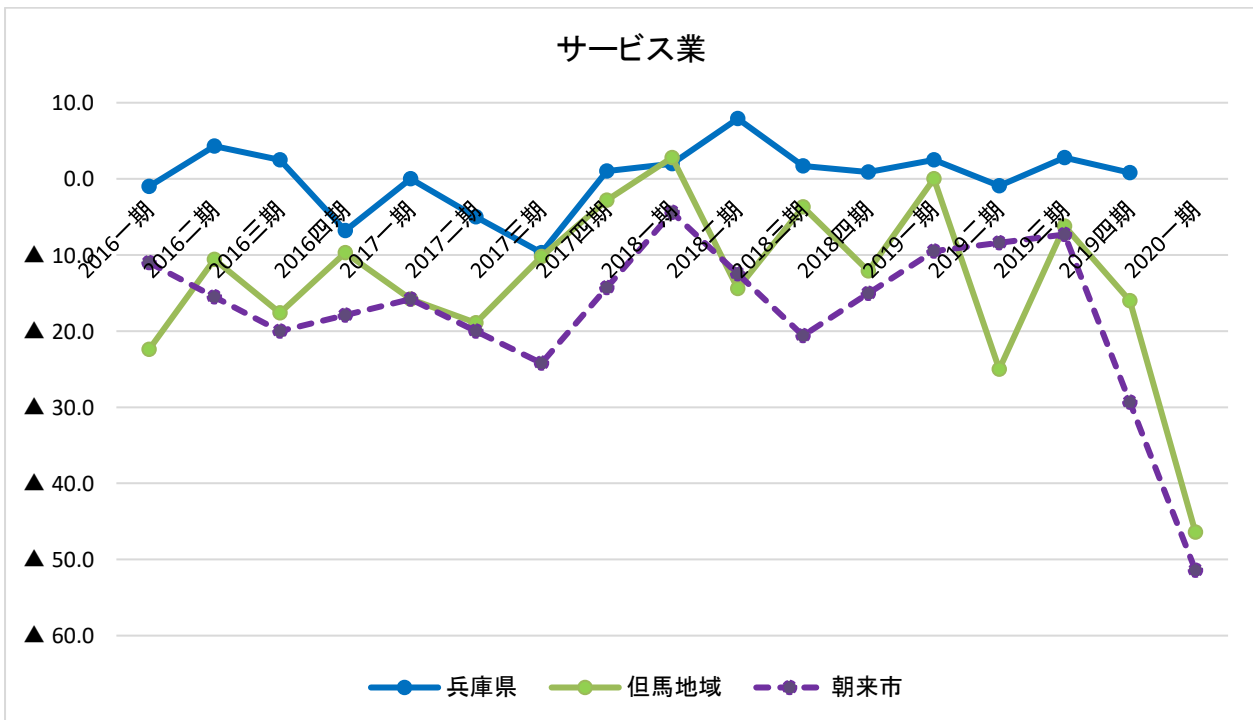
	件数	構成比
好転	9件	8.3%
不変	35件	32.1%
悪化	65件	59.6%

前回調査の最多は「不変」だったものの、今回は「悪化」との回答を頂いた事業者が増加し、D.I.値は前回調査と比較し『▲44.1ポイント』と全業種で最大の下がり幅を記録しました。

地域	D.I.
兵庫県 (みなと銀行)	—
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲46.4ポイント
朝来市	▲51.4ポイント

但馬地域、朝来市ともに大幅な下落を見せ、かつ近年では最も悪い数値を出す結果となりました。

○サービス業における地域ごとの景況推移



※朝来市は二期（4～6月）、四期（10～12月）の調査未実施のため、中間点を計上

2019年三期には全ての地域で回復を見せたものの、2020年に入ってから状況が逆転し、大幅な下落を見せています。新型コロナウイルス感染症、但馬地域においては暖冬による経済停滞の影響を大きく受けた結果と考えられます。

○経営上の問題点（サービス業－朝来市）

	2018 下半年	2019 年上半年	2019 年下半年	2020 年上半年
1 位	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応
2 位	材料等仕入単価 の上昇	材料等仕入単価 の上昇	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化
3 位	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	需要の停滞	需要の停滞

前回調査と同様に「利用者ニーズの変化への対応」が上位に挙がっており、サービス業の事業者にとって根強い課題であること、小売業同様に感染症拡大による消費者の動向変化を踏まえた対応が必要と分かります。4位以下は「材料等仕入単価の上昇」「人件費以外の経費の増加」が入っており、売上減少・経費増加による利益減が生じています。

○経営状況や今後の方針について（サービス業－朝来市）

創業5年未満	14件
売上・事業拡大	29件
現状維持	71件
事業承継への取り組み	15件
廃業を検討	10件

※複数回答あり

・廃業を検討（10件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	7件
事業譲渡なども、全く考えていない	3件

(参考) 全データの集計

○経営者、事業主の年齢を教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
20代	1	0	0	0	1
30代	1	6	3	7	17
40代	14	10	14	24	62
50代	14	16	14	33	77
60代	14	11	23	33	81
70代以上	4	10	24	28	66

○事業承継、後継者について教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
まだ考えていない、しばらく必要ない	16	22	29	55	122
後継者は既に決まっている	7	10	9	15	41
後継者はいるが、まだ決まっていない	9	10	11	19	49
候補者が見当たらない	7	6	0	7	20
後継者は必要ない	8	4	19	16	47

○経営状況や今後の方針について教えてください

(複数回答可能)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
創業5年未満	1	1	3	14	19
売上・事業拡大	17	24	26	29	96
現状維持	22	24	40	71	157
事業承継への取り組み	10	12	9	15	46
廃業検討	5	1	9	10	25

※廃業を検討される方

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
事業譲渡や引き渡しを検討	2	0	2	7	11
事業譲渡なども、全く考えていない	3	1	7	3	14

○雇用者数について教えてください

【正社員(正規雇用)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	7	11	26	48	92
1人～5人	17	16	37	40	110
6人～10人	10	5	8	11	34
11人～20人	5	6	1	5	17
21人以上	5	12	1	6	24
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	23	10	9	14	56
適正人数である	14	24	31	43	112
雇い入れが過剰である	0	4	1	3	8
雇用していない・しない	5	11	28	47	91

【パートタイマー(アルバイト)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	14	14	31	46	105
1人～5人	21	20	23	44	108
6人～10人	0	6	7	11	24
11人～20人	2	5	2	6	15
21人以上	0	2	1	3	6
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	8	14	11	43	76
適正人数である	14	1	20	105	140
雇い入れが過剰である	1	10	1	0	12
雇用していない・しない	10	33	28	0	71

○令和2年1～3月と前年同期(平成31年1～3月)を比較した状況について教えてください

		建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
業況	好転	1	6	6	9	22
	同じ	29	14	17	35	95
	悪化	13	32	49	65	159
売上	増加	4	2	21	0	27
	同じ	24	11	22	15	72
	減少	18	1	4	8	31
販売価格	増加	5	4	4	1	14
	同じ	34	7	24	2	67
	減少	7	3	19	5	34
仕入価格	増加	17	1	4	0	22
	同じ	27	11	3	0	41
	減少	2	3	5	3	13
資金繰り	好転	3	0	0	0	3
	同じ	31	3	3	0	37
	悪化	10	3	4	1	18

○今期の経営上の問題点を教えてください(上位3つまで)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
大企業の進出による競争の激化	2	4	14	4	24
新規参入業者の増加	3	2	4	20	29
利用者ニーズの変化への対応	7	10	41	44	102
店舗施設の老朽化	7	9	14	39	69
人件費の増加	10	14	13	16	53
人件費以外の経費の増加	11	17	8	30	66
利用料金の低下・上昇難	2	1	5	20	28
材料等仕入単価の上昇	14	19	17	33	83
金利負担の増加	1	3	0	6	10
事業資金の借入難	5	5	7	10	27
従業員の確保難	24	13	10	28	75
熟練技術者の確保難	24	8	3	12	47
需要の停滞	10	28	35	36	109
その他	5	5	13	16	39